

分担金・拠出金の名称	国連総会議長信託基金拠出金	平成28年度 予算額		総合 評価	
拠出先の国際機関名	国連 総会議長室				
国際機関の概要	国連総会議長は、国連の全加盟国（193か国）により構成される国連総会を代表するポストであり、総会の議事を取り仕切る他、国連総会におけるハイレベルテーマ別討論等の開催や国連の取り組むアジェンダ推進のため各国政府要人との協議等を行っている。総会議長信託基金は、国連総会議長の主たる活動資金であり、国連総会議長室は、総会議長が任務を遂行する上で必要とする助言や事務・調整を行っている。				
評価基準		達成状況			
1. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性（意思決定における我が国のプレゼンスを含む）		本拠出金は、国連総会議長の活動経費（出張旅費、国際会議開催経費）を対象としている。本拠出金を活用し、総会議長が、安保理改革の推進等我が国の重視する課題に関するハイレベル会合等を開催又は国際会議へ出席等することにより、我が国の国連政策について、加盟国の理解を促進し、支持の拡大を図ることを目指す。近年、国連総会議長の役割が拡大するなか、総会議長の活動資金確保が課題となっていることから、我が国による総会議長室への財政的貢献は、総会でのプレゼンス向上を図る上で意義が大きい。また、2016～2017年、日本は安保理非常任理事国を務めており、この好機を最大限活用し、安保理改革を始めとする我が国が重視する国際場裏での課題にイヤマークした拠出を行うことは、我が国の国連政策の前進に大きく貢献することとなる。			
2. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献		国連総会議長は、安保理改革、SDGs、気候変動等の地球規模課題に関する国際的議論の場として重要な国連総会の取組の中で重要な役割を担う、我が国の国連外交推進における最重要のキーパーソンの一人である。総会議長は、特に我が国が重視する安保理改革において政府間交渉議長の任命を行う等重要な役割を担っており、総会議長の積極的な取組が重要である。			
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント					
4. 当該機関等における邦人職員の状況					
5. 我が国拠出の執行管理、PDCAサイクルの確保		① 計画段階（Plan）：拠出に先立ち、外務省と協議しつつ、拠出先事業を決定 ② 実施段階（Do）：総会議長による事業の実施 ③ 評価段階（Check）：総会議長室作成の報告書により成果を評価。また、日本政府としても会合等への参加者からのフィードバックを通じてしかるべく評価 ④ フォローアップ（Act）：総会議長室との協議、参加者からのフィードバックを通じ、必要に応じて拠出先事業の見直し、次年度以降の拠出額の決定に繋げる			
担当課・室名	総合外交政策局 国連企画調整課				